

北川議員

雪の活用について

問 東日本大震災以来、環境への負荷の少ない自然エネルギーの利用拡大が叫ばれている。ところで新潟県は雪を有効資源として活用し、雪冷房・雪冷蔵施設を積極的に取り入れている。同様に積雪寒冷地域・特別豪雪地帯に指定されている本市においても、雪を利用した施設の利用の考えはないか伺う。

答 今議会に提案している新体育館の冷房に使えないかということがあり、秋には建築担当の技術職員に施設を視察させ、熱交換の方式や雪を保存する場所など技術的な観点から調査研究を進めると共に、自然エネルギーの有利な補助事業を調査し当てはまるものがないかなど意欲的に取り組みたいと考えている。

減災への取り組みについて

問 地震や集中豪雨などによる自然災害が増えてきた。大きな被害を被った地域を中心に様々な対策が講じられている。「率先避難者」という言葉も生まれ、また国では「減災」という概念が示された。

その他の質問
・放課後児童教室について

本市においても減災への取り組みが必要。そこで2点について伺う。
①住民による防災マップづくりについて
②空き家・空き工場の実効性のあ

答 ①活動支援として自主防災組織の設立等に対しての補助金制度を今年度から拡充し、その中で防災マップの作成に係る経費なども補助対象としている。
②先進地における事例を研究すると共に、建物密集地の区長に事例を紹介し、事業を実施する場合ごどのような事業内容にするのがよいか意見を伺い、制度設計に反映していく。



農産物貯蔵庫の例

乾議員

平泉寺荘の閉館について

問 周辺地域をはじめ、常時利用されている方々は非常に心配され嘆いておられる。これまで市からの説明がなく理由が正しく伝わっていない。風呂は清潔さを保つだけでなく、くつろぐ身近な憩いの場、健康維持、孤立を防ぐ居場所でもある。また、あの地は心が安らぎ、訪れる人々が一服できる最適な場所。有効活用すべき。存続を含め、周辺地域と十分話し合いをすべき。

答 地元区から平泉寺荘の存続についての陳情も出ているので、陳情を受けて今後どのように対応できるか検討を行う。その結果を踏まえ、地元区へご説明し、勝山市の方向性を決めていきたい。

観光客への昼食サービスについて

問 恐竜博物館に訪れる観光客への昼食サービスの提供は市の経済効果の面からも極めて重要。業者は言う。「夏休み期間、週末等に集中するお客相手に店を建設しても採算が合わない」と。この際、思い切って行政が昼食専門街を恐竜街道に設置し、民間が経営・営業

その他の質問
・国民健康保険特別会計における薬剤費について

する公設民営の手法を提案したいが、今後の方策はいかがか。

答 昼食場所の不足についての今後の方策として、恐竜博物館からの市内への誘客をさらに進めていく、勝山市観光振興ビジョンに基づき、民間資本・民間活力を生かした観光推進組織の確立を図ると共に、市内観光施設、市内の飲食店、スキー・ジャム勝山、勝山ニユーホテル、水芭蕉等の民間の協力を得て、連携の強化を図りながら地域経済の活性化に繋げていきたい。

